

DXビジネス検定™

デジタル時代のDXビジネスの全体像を見通し、
組織の <ビジネス変革> を目指す人財に
企業社員のリスキングに効果的



法人：2025年5月15日(木) 11:00~12:00 / 13:00~14:00
個人：2025年6月1日(日) 13:00~14:00
申し込み期間：2025年2月4日(火) 正午~4月29日(火) 正午

「DXビジネス検定™」はDX時代に必須の「DXビジネス力」の検定試験

「DXビジネス検定™」は、これからのDX時代に生きる全ての企業人が「DXビジネス人財」を目指すための最新検定で、「DX検定™」シリーズの第2弾です。「DX検定™」の出題範囲よりさらにビジネス領域の裾野を広げ、内定者から新入社員、若手社員、管理職、経営陣も含め、DX入門者から、デジタル化に苦手意識のある方、全ての企業人の方々が対象となるDXビジネス力を認定する検定試験です。

そもそも、DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、「ビジネスの仕掛け」を活用した経営改革のことです。このため企業がDXを本当に成功させたいなら、「DXの基礎用語」はもちろん、「データ分析に関する用語」、「デジタル技術に関する用語」、「マーケティングに関する用語」、「ビジネスモデルに関する用語」を数多く理解する必要があります。

さらにこれら用語を使った「企業DX事例」も幅広く知り、どの企業がどの技術やビジネスモデルを使っているのかを分析し、自社のDXに活かすことが必要です。「DXビジネス検定™」はこのような用語、特にビジネスモデルと企業DX事例を多く出題しています。

自社ビジネスと「DXビジネス」の関わりを知り、世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解・参考にすることで、DX時代の「DXビジネス推進人財」「ビジネス価値創造人財」となることを目指せます。



←結果画面サンプル



▲スコア600以上のレベル認定者へオープンバッジを呈呈

▲認定証サンプル

■ 検定概要

検定名	DXビジネス検定™
概要	DX時代の企業人財のDXビジネス力を測る検定。また、基礎的なテクニカル分野の問題から、多数のDXビジネスモデル、DXビジネス事例などから、厳選された最新問題が幅広く出題されます。
対象者	内定者から新入社員、若手社員、管理職、経営陣も含め、DX入門者から、デジタル化に苦手意識のある方、全ての企業人の方々
出題数・形式	60分間で96問の知識問題（多肢選択式）出題。Web受検。PC、タブレットでの受検が可能
出題問題	DXビジネスモデルやビジネス事例を中心としたDXに関わる全般の必須知識項目から幅広く出題。詳細は裏面の「DXビジネス検定™シラバス」をご参照下さい。
受検料	一般：6,600円（税込） （検定サイトから、①法人申し込み ②個人申し込み が可能です。） ※検定公式準拠教材(「DX Study™ Biz eラーニング」)との、セット割引のお申し込みも可能です。
第8回開催日	年2回検定実施（5月、11月にWeb開催） 法人受検日：2025年5月15日（木）①11:00~12:00、または ②13:00~14:00 どちらかで受検（事前予約等は不要） 個人受検日：2025年6月1日（日）13:00~14:00 ※法人50名様以上のお申し込みの場合、企業向け受検日程をご指定可能となります。お問合せ下さい。
お申し込み期間	2025年2月4日(火)正午~4月29日(火)正午
結果発表予定	2025年6月18日(水)を予定 ※また検定実施後の企業向けオプションとして、組織分析・全国比較等も別途承ります。

■ 検定公式ページ

<https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>

■ 一般社団法人日本イノベーション融合学会（IFSJ）について ■

デジタルトランスフォーメーション時代に、変化と競争にチャレンジし新たな価値を生み出すイノベティブ人財を結集し、異分野間の融合領域においてイノベーションを創出することで、我が国の活力増進、社会経済力向上、国際貢献に資することを目的とする学会。2014年設立、2022年1月に一般社団法人化。
IFSJ公式ページ <https://www.ifsj.or.jp>

*試験の開発・運営は検定事務局の「株式会社ネクストエデュケーションシンク」が実施します。

主催 一般社団法人日本イノベーション融合学会「DX検定™」委員会

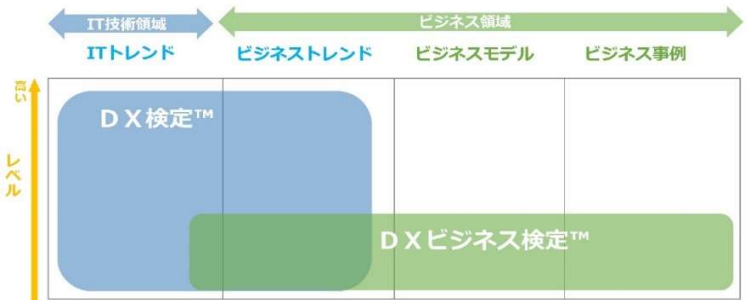
検定事務局 株式会社ネクストエデュケーションシンク DXビジネス検定™事務局 TEL：03-5842-5148
FAX：03-5842-5147 e-mail：ifsj-itbt@nextet.net 東京都文京区本郷5-1-16 VORT本郷3F

■「DXビジネス検定™」と「DX検定™」との違い

最新のDXビジネスの視野を広げ、経営層から入門の方までのDXリテラシー知識全体をカバーしています

従来の「DX検定™」は、これからの社会の発展・ビジネス全般に必要な、デジタル技術によるビジネスへの利活用を考えるDX推進人材のために、毎日爆発的に増加するDX関連用語を確かな知識にするための、「先端IT技術トレンド」と、「ビジネストレンド」を年2回厳選編集して出題するDXリテラシー検定です。

「DXビジネス検定™」は、さらに最新のビジネス領域全体を広くカバーし、「DX検定™」ほど先端のITトレンド、技術知識はアップデートする必要はないという方、「DX検定™」は少し難易度が高いと感じているビジネスパーソン、DXビジネス入門の方々にもおすすめです。



また、「自社ビジネスのDX展開のヒントを知りたい」「世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解・把握して実践に活かしたい」という方々に受検いただくことで、DXビジネスに関する知見と視野が広がり、「DXビジネス推進人材」「ビジネス価値創造人材」としての第一歩を踏み出していただくための、新入社員、営業社員、技術社員から管理職、経営層までの全社員を対象とした新検定です。

■「DXビジネス検定™」シラバス

カテゴリ	分類	説明	主なキーワード	
DX 基礎領域	01	DXの基本	DXの基礎用語や事例	DX、攻めのDX、デジタルイノベーション、デジタルイノベーション、非連続イノベーション、共通プラットフォームなど
	02	デジタル技術	デジタル技術用語や事例	IoT、5G、API、アジャイル開発、MaaS、マイクロサービスなど
	03	データと分析	データ、分析用語や事例	データサイエンス、BI、ETLツール、非構造化データ、NoSQL、シミュレーションなど
	04	マーケティング	マーケティング用語や事例	O2O、OMO、リードジェネレーション、ナッジ理論、リードナーチャリング、カスタマージャーニー、インフルエンサーなど
DX ビジネス モデル	05	消費者の状況と ビジネス環境	ビジネスモデルの前提になる消費者の状況とビジネス環境の 用語や事例	ネットワーク外部性、トキ商材、モジュール化、レイヤー化、サードプレイス、UI、UX、デザイン思考など
	06	戦略モデル	ビジネスモデルのうち、戦略モデルの用語や事例	媒介型プラットフォーム、シェアリングエコノミー、クラウドファンディング、消耗品モデル アス・ア・サービス、イネーブラーなど
	07	オペレーションモデル	ビジネスモデルのうち、オペレーションモデルの用語や事例	SPA、メイクトゥオーダー、直販(ダイレクトセル)、オープンイノベーション、 プロシューマー、顧客ライフサイクル、アップセルなど
	08	収益モデル	ビジネスモデルのうち、収益モデルの用語や事例	レベニューシェア、投げ銭モデル、サブスクリプション、アドオン、カスタマーロイヤリティ、 フリーモデルなど
DX ビジネス 事例	09	ビジネスモデル事例 (デジタル集客系)	デジタル集客、マッチング、マーケットプレイス(デジタル・リアル商材) ビジネスに関する事例	C2C取引サービス、マッチングサービス、クラウドファンディング仲介企業、 シェアリングサービス企業、SNSサービス企業など
	10	ビジネスモデル事例 (デジタル商材系)	デジタル商材(リアルとの融合含む) ビジネスに関する事例	スコーリングサービス企業、チャットアプリサービス企業、決済サービス企業、 ピーコンサービス企業など
	11	ビジネスモデル事例 (リアル+デジタル融合)	リアルビジネスとデジタルの融合に関する事例	サブスクリプションサービス企業、D2C企業、ネットスーパー、 オフィスコンビニサービス、デジタル化商材など
	12	ビジネスモデル事例 (リアル)	リアルビジネスの事例	SPA企業、エコ活動企業、ブルーオーシャン戦略を実施する企業など

<V.20210910>

■ 検定公式ページ、お申込み、企業・団体受検のご相談はこちら

<https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>



■「DXビジネス検定™」公式テキスト



「DXビジネス検定™」で取り上げられる各種用語、特にビジネスモデルと企業DX事例を数多く収録し、総合的に学ぶことができる公式テキストです。
自社ビジネスと次代の「DXビジネス」の関わりを知り、世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解することで、DX時代の「DXビジネス推進人材」「ビジネス価値創造人材」を目指すことができます。

「DXビジネス検定™」公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)

■「DXビジネス検定™」参考図書・資料など

■書籍

- ①「ChatGPT時代の文系AI人材になる」(東洋経済新報社)
- ②「実践リスクリング DXを成功に導く人材を育成する」(日経BP)
- ③「DX人材の育て方 ビジネス発想を持った上流エンジニアを養成する」(翔泳社)
- ④「マッキンゼーが解き明かす 生き残るためのDX」(日本経済新聞出版)
- ⑤「DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略」(インプレス)
- ⑥「ビジネスモデル2.0図鑑」(KADOKAWA)
- ⑦「この一冊で全部わかるビジネスモデル 基本・成功パターン・作り方が一気に学べる」(SBクリエイティブ)
- ⑧「IT用語図鑑 ビジネスで使える厳選キーワード256」(翔泳社)
- ⑨「改訂版 マーケティング用語図鑑」(新星出版社) ほか

■テレビ番組等

- ・カンパリア宮殿(テレビ東京)
- 番組および、番組ホームページ(テレビ東京のページでバックナンバーがご覧になれます)
- ※予告なく最新のものに更新されます。

■経済産業省レポート

- ・DXレポート
～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～
- ・デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン
- ・DXレポート2(中間とりまとめ)
- ・DXレポート2.1(DXレポート2追補版)
- ・DXレポート2.2(概要版)
- ・デジタルスキル標準Ver1.1<改定後全体版>

主催 一般社団法人日本イノベーション融合学会 担当：DX検定™委員会

検定事務局 株式会社ネクストエデュケーションシンク DXビジネス検定™事務局
TEL：03-5842-5148 e-mail：ifsj-itbt@nextet.net 東京都文京区本郷5-1-16 VORT本郷3F